

製品名: BAF57/SMARCE1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84474**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 47 kDa ; Observed MW: 57 kDa

抗原情報

遺伝子名	BAF57/SMARCE1
別名	BAF57; SMARCE1;;SMARCE1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q969G3
免疫原	ヒト SMARCE1 由来の合成ペプチド

背景

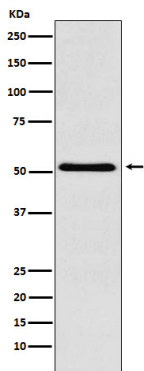
クロマチンリモデリング (DNA-ヌクレオソームトポロジーの変化) による特定の遺伝子の転写活性化と抑制に関与する。SWI/SNF

クロマチンリモデリング複体の構成要素であり、主要な酵素活性を担い、ATP 依存的にヌクレオソーム内の DNA-ヒストン結合を変化させることでクロマチン構造を変化させる。神経前駆細胞特異的クロマチンリモデリング複体 (npBAF 複合体) およびニューロン特異的クロマチンリモデリング複体 (nBAF 複合体) に属する。

研究分野

-

画像データ



Raji 細胞溶解物中の BAF57/SMARCE1 発現のウェスタン ブロット分析。